

日本洋書協会会報

Vol. 34 No. 5 (通巻396号) 2000年5月

東京国際ブックフェア2000

今年には日蘭修好400年を記念した「オランダバビリオン」「子ども読書年」「サン・ジョルディの日」をメインテーマに4月20日から23日まで、東京ビッグサイトで開催されました。

国際ブックフェアには25カ国からの参加といわれていますが、欧米の出版社の参加は少なく、アジア地域の出版社の為のフェアという形が定着してきたようです。しかし同時開催の「自然科学書フェア」、「人文・社会科学書フェア」、「マンガ・コミックフェア」、「電子出版マルチメディアフェア」等に日本の出版社などが多数参加し、新刊の紹介、特価本の提供を行い、それらを目当てにした来場者も約4万8千人（主催者側発表）と年々増加して大変にぎわっていたようです。「ようす」なんて無責任な書き方ですが実際のところ、毎日朝から終わりまで殆ど「洋書バーゲンコーナー」に詰っていた為、全体のことは良く判らないのです。ごめんなさい。

その「洋書バーゲンコーナー」もこのフェアに欠かすことの出来ない催しになりました。今年は13の書店・卸業者が参加し、謝恩価格として大幅な割引価格を設定して提供しました。会場運営の担当者が、他社の商品だけでなく自社の商品も買っていたことでも、その安さが判ると思います。

初日、会場と同時に多くの方がいらっしゃいました。その中に今年も某大学の教授の顔がありました。その先生の行動パターンは決まっており、まずワゴンの下から空の段ボール箱を引き出し、それを会場の隅におき、



2~3時間かけて会場をくまなく歩き、選んだ本をその箱に詰めて3~4箱になると会計をするという形で、レジ係は一時パニック状態になります。普段店頭でこういう買い方をして下さると嬉しいのですが、それは無理ですね。

しかしこういったレピーターの方々もふくめ、多くの人に支えられて、合計1万2千冊弱、約1千万円の売り上げを計上いたしました。

そして、エピソードをひとつ。たくさん買って下さる方の中には、もっと見たいので、買った本を預かっておいて欲しいと頼む方がおられます。去年もそのケースで、10数冊をAさんという方からお預かりしたのですが、最終日まで引き取りに来られず、お名前だけしか聞いていなかったで連絡もできず、やむなく1年間保管しておりました。そして毎朝のミーティングでそのことを運営担当者に伝えていたところ、三日目にAと名前の入った

目次

東京国際ブックフェア2000.....1・2	ダイレクター正誤表.....3	1999年洋書輸入統計(後編) ... 6・7
理事会報告 ほか.....2	新・パソコン外論考(其5).....4	広 告.....8
	出版文化史遺選(4).....5	

バックを持った人を見つけてくれた担当者がおり、お預かりしていた本は無事Aさんにお渡しできました。本人もすっかりあきらめておられたので大変感謝されました。

なお、「オランダパビリオン」の中に、オランダ関連図書の展示・即売コーナーを設け、運営を丸善さんにお引き受け願いました。展示の書籍は、日本書籍出版協会さんのご協力で出版社から無料で提供して頂き、終了後に日蘭学会へ寄贈いたしました。(洋販 尾内記)

理事会報告

4月17日(月)

1. 1999年度決算報告・総務委員会案を承認した。
理事会案として定時総会に提案する。
2. 総会議事を一部修正して了承した。
3. 阪神エアカーゴ(株)(賛助会員)およびタッセン・ジャパン(株)(正会員)の5月1日付入会を承認した。
4. (株)トッパンの退会申し出を受理した。(3月31日付)
5. 協会パンフレットを東京国際ブックフェアで配付する旨の広報渉外委員会報告を了承した。

新会員を紹介します

会員社名：阪神エアカーゴ株式会社
東京都千代田区鍛冶町1-8-3
神田91ビル 2F
Tel：03-5296-1577 Fax：03-5296-1587
代表者：代表取締役社長 直井 光氏
主要事業：利用航空運送、通関業
入会日：2000年5月1日
会員資格：賛助会員

会員社名：タッセン・ジャパン株式会社
東京都港区南青山5-11-23
アトリエアークビル
Tel：03-5778-3000 Fax：03-5778-3822
代表者：代表取締役 ロバート・セルフ氏
主要事業：美術書卸売業
入会日：2000年5月1日
会員資格：正会員



海外ニュース

Bertelsmann 日本上陸

ライターによると、Bertelsmann と角川書店は、共同出資のオンライン書店を日本に設立する最終的な話し合いを終えたとのことである。

このジョイント・ベンチャーは、日本語で書かれた書籍を販売する。Bertelsmann は日本とドイツの関係に多大な興味を持っているのであろう。Bertelsmann は角川書店の株式の3%を買っているところで、この売買は日本企業の株価が不安定なため遅れているが、6月末に予定されている角川の株主総会で承認される見込みである。

Research Institute for Publications の調査によると、日本の書籍雑誌業界の売上は1998年の一年間で約230億ドルにものぼるとのことである。

子会社 BOL.com を通して、Bertelsmann はイギリス、ドイツ、フランス、オランダ、スペイン、スイスなどでオンライン書店を営んでいる。最近、香港、シンガポール、マレーシアにサイトを持つ asia.bol.com を開設したが、現在経営はイギリス国外に移され価格はポンドに変更して販売されている。BOL.com は近くイタリアに開設され、スカンジナビア半島全域をカバーする書店も計画されている。

そのうえ日本では、Bertelsmann が共同出資している大規模なオンライン書籍販売会社がある。もちろんそれは B&N.com で、Bertelsmann と Barnes & Noble はこのアメリカで2番目の規模のオンライン書店の株をそれぞれ40%ずつ所有している。残り20%は一般公開分である。

PW Daily for Booksellers/May 10, 2000

お詫びと訂正

この度刊行しました2000年版ダイレクトリーに変更および誤りがありました。お手元のダイレクトリーを以下のようにご訂正ください。

頁	[変更または誤記]	[正]
2	配列は会員名(日本語表記)の五十音順です。	配列は会員名(欧文表記)のアルファベット順です。
13	株式会社 フランス図書 取扱分野 人文:社会、心理、教育、 人類学、歴史、哲学、宗教、芸術 その他:フランス語 メディア データベース	社会:歴史、社会 人文:文学、言語、哲学 フランス語、英語、その他の言語 コンピュータソフト
13	株式会社 ゲーテ書房 E-mail gothebk@blue.ocn.ne.jp	gothebk@blue.ocn.ne.jp
21	カンダ ブック トレーディング株式会社 E-mail geokanda@ma.kecom.ne.jp	geokanda@ma.kcom.ne.jp
32	株式会社 マイブックサービス 欧文住所郵便番号 101-0004	101-0064
43	株式会社 三省堂書店 TEL 03-3292-8415 FAX 03-3233-3935 E-mail ssdimport@pep.ne.jp	03-3896-6332 03-5839-0292 fbook_stock@mail.books-sanseido.co.jp
44	株式会社 三省堂書店(続き) 支店・営業所	[追加] 東京営業所 〒160-0005 東京都新宿区愛住町 19-16 ハヤシビル 5F TEL 03-3352-1881
49	トムソン・コーポレーション株式会社 和文社名 欧文社名 E-mail 代表者 中村 祐輔 営業責任者 鈴木 一緒 仕入責任者 鈴木 一緒 取扱出版社	トムソン ラーニング THOMSON LEARNING 削除 松岡 優子 Yuko Matsuoka, General Manager 上保 真弓 Mayumi Uwabo (ELT 担当) 松村 達生 Tatsuo Matsumura (専門書担当) 水上 裕紀 Yuki Mizukami [追加] Course Technology, Milady, Singular Publishing Group, Onword Press [削除] Peer-to-peer Communications

ご迷惑おかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

[ダイレクトリー委員会]

新・パソコン外論考 (其5)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆A Kiss to build a dream on./キスを! 夢を見続けるために…

葉公問孔子於子路、子路不對、子曰、汝奚不曰、其爲人也、發憤忘食、樂以忘憂、不知老之將至云爾、

The Governor of She asked Tzu-Lu about Confucius. Tzu-Lu did not know how to answer. The Master said, "Why did you not simply say something to this effect: he is the sort of man who forgets to eat when he tries to solve a problem that has been driving him to distraction, who is so full of joy that he forgets his worries and who does not notice the onset of old ages?"

(論語/述而・Confucius; The Analects/Book VII)

【超拙意訳; 葉公(葉県の長官)が「孔子の人物像」を先生の弟子である子路に尋ねました。ところが、子路は簡単に先生の人柄を答えることができずに無言であった。この件を先生に言ったら「なぜ言ってくれないんだよ。先生の人柄は、興奮すると食事まで忘れてしまう。自分で好きなものを楽しんでいるときは、憂いを忘れてる。また、『忍び寄る老い』も気にせずオプティミスティックに生きていることを、なぜ言ってくれなかったんだよ】

【外注; このエピソードの時、孔子は63~64歳で、流浪の身であった。左伝によれば、B.C. 479年、葉公(姓は沈、名は諸梁)は、当時大国の楚で起った「白公の叛乱」をその人望で収拾したので有名】

★Internet関係のパソコン英語*****(1)

『15歳ハッカー(*A)を御用』(朝日4/20)との見出しが目に飛び込んできました。本年2月、アメリカで起ったインターネットサービス(Internet Service)のホームページ(Home Page(*B))への許容量を越えたアクセスで回線をパンクさせたカナダの少年(マフィアボーイ)が、逮捕されたというニュースであります。世界大手のネットメディア会社ヤフー(Yahoo!(*C))、オンライン書店アマゾン・ドット・コム(amazon.com)等々のWebサイト(site)が被害を受けたのです。

この記事報道に関して、パソコン超無関心派の方々は、「何だい? ヤフーって? ほら例のガリバーの…」と思われたかも知れません。これは、出典を推察する意味

では当たっています(その他は後述)。

他方、コンピューターに触れている方は、好むと好まざるとに関わらず、「英語(単語)」=「アルファベット」と「カタカナ」の洗礼を受けざるを得ないので、記事を目にして「へえ、Dot-Com ワールドも意外にもろいなあ」と思われたかも知れません。

現在のIT(Information Technology=情報技術)革新的進歩を目にしますと、パソコンを20年近く触れてきた筆者は、かつてのごとくkeyboard=鍵盤、computer=電算機とか、mouse=鼠といっても始まりませんので「日本語化」を捨てています。そして、英単語とカタカナの百花撩乱の中に埋まっております。そこで、コンピューター世界と英語(英単語が大半)の【原義・解釈】等々を考察してみます。で、冒頭の記事に戻ります。

【ハッカーHacker(*A)】とは、権威ある(筆者が権威を与えたのですが)「デジタル事典」(日経BP)でも「不正アクセスを行うものの総称」とあります。もちろん【原義】の創造的プログラマーの定義も記載してあります。が、外国のメディアでは、【Cracker】=不正アクセスを行うものと、尊称である【Hacker】は、厳密に区別して報道しております。『Cracking Down on Inappropriate Mail』(New York Times, Sunday, April, 9, '00)【Hacker; 補注】“Cracker”と尊称である“Hacker”は、似て非なるもの。乞区別使用。

【Home Page(*B)】というのは、本来は[WWW Server*]にある[HTML*]文書の「表紙」部分、top pageのことです>(*印は、次回に説明予定)

ところが、日本では残念ながら、表紙もその他リンクされているページも含めて「ホームページ」と言っております。これも、正確に言えば、【Web Page】です。

【Yahoo!(*C)】は、Internet 検索(search)用engineの草分け的なものです。Stanford大学のD. FiloとJ. Yangの作。[yet another hierachical officious oracle]=またも一丁、階層的非公式の神の託宣、今風にいえば天声がありました、という意味です。Jonathan Swift(ダブリン生まれの英国の作家)の“Gulliver's Travels”(1727)の中で、Houyhnhmsに仕える人間の姿をし、すべての悪徳を備えた生物=Yahooのこともあります。蛇足; 1株が1億円!!!を越えたと騒がれたYahoo、発行済株の内51%を保有し評価高の例のSバンク。この手のVirtual株には、私見ですが、「虚像に手を出すな!」(次号へ、乞御期待)

明治初期の目録に見る洋書〔15〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

◆明治16年洋書目録に見る輸入の状況(7)

前回触れたように丸善がヘボンの辞書『和英・英和語林集成』第3版を刊行したのは明治19年なので、明治16年洋書目録に掲載されているのは、表示はないが、明治5年の第2版ということになる。ヘボンの辞書の出版は明治初期における丸善の大きな出版事業のひとつだったので、ついでに第3版について述べておきたい。

丸善がこの辞書を刊行することになった由来・経過は詳らかではないが、丸善から版權の買い取りを申し出ており、ヘボンに2千ドルを支払ったという。丸善は洋書や薬品・医療器具の輸入会社として医師ヘボンと長いあいだ親密な関係にあったし、またこの辞書が好評裡に流布していたことを受けての商策でもあったろう。

さて、この第3版の改訂増補は著しく、見出し語は初版(和英20772、英和10030)・2版(和英22949、英和14266)に比べて格段に増加し、和英の部で35,618、英和が15,697であった。改訂に当たっては、J. T. ギューリック、W. N. ホイットニーと共に明治の語学者・翻訳家として活躍した高橋五郎が手伝ったが、彼は主として古事記、万葉集、物語類など古語を担当したという。知り合った日本人の中で最も緻密な頭脳を持っているとヘボンに称賛された高橋は英語・ドイツ語・フランス語に熟達した英才で、翻訳家としての活動は目ざましく『プルトーク英雄伝』『ファウスト』やカーライル、モンテーニュ、ベーコンなど、実に多彩なものであった。また、ホイットニーは明治21年にやはり丸善から『語林集成 漢字索引』というヘボン辞書を漢字で検索できる資料を上梓している。

ヘボンといえばヘボン式ローマ字で著名である。ローマ字はキリシタン渡来の折に日本で翻訳・印刷された、いわゆるキリシタン版で使われたのが最初であった。ヘボンは独自のローマ字を考案して初版、第2版と改良を重ねたが、第3版は明治18年に発足したローマ字会(ヘボンは顧問を務めた)の検討を経た標準式の綴り字法によったもので、今日われわれが使用しているヘボン式ローマ字とほぼ同じものである。ちなみに日本式綴り字法によるローマ字は昭和13年に制定された。

丸善はこの第3版を3,000部制作して2円で売り出したが、英語学生の必須辞書として広く流布し、明治43年の第9版まで版を重ねた。また明治20年には縮刷版も丸善から発行された。また学習者ばかりではなく、その後明治期を通して日本の辞書編纂に強く影響し、底本として大いに参照された。ヘボンの和英辞書の影響を初めて脱したのは三省堂が明治42年に刊行した井上十吉編『新訳 和英辞典』であったという。〔参照文献：望月洋子『ヘボンの生涯と日本語』/『近代文学研究叢書』第12巻・第39巻/早川勇『初期英和辞典の編纂法』〕

“English and Japanese Dictionary”(『英和对訳辞書 開拓使版』と日本語でも表示)という辞書が明治16年洋書目録に収録されているが、この辞書も外国語辞書史に残る重要なものであった。編者は函館戦争で榎本武揚と共に官軍と戦い、降伏後開拓使出仕を拝命した荒井郁(郁之助)が制作を企画した。開拓使で発行した関係で「開拓使版」と称された。

開拓使に所属する「開拓使仮学校」、後の札幌農学校(北海道大学の前身)は明治5年に東京の増上寺の境内に創設されたが、校長であった荒井は開拓増進のための基盤として教育の充実を痛感し、そのためにこの辞書を編纂して明治5年に刊行して、全校生徒に貸与した。さらに、期末試験の優等生には賞品として贈ったという。

この辞書は文部省の意向で、既成の辞書を増補する形で、実際に編纂したのは開拓使の久保包直であった。下敷き(ほとんど翻刻)になったのは、「薩摩辞書」と称された『大正増補 和訳英辞林』(明治4年版)であった。編纂に当たって開拓使のお雇い技師トマス・アンチセルによる鉱山関係用語などを追加し、それら化学鉱山専門用語624が巻末に「諸元素名称及其畧称表譯」として掲載された。この点が大きな特色となったもので、以後続出する専門用語辞典の先駆けになった。全体では見出し語約4万で、発音記号は日本で初めてウェブスター式発音を使った「薩摩辞書」を継承し、同様にウェブスター式のものであった。〔参照文献：惣郷正明『目で見る明治の辞書』/早川勇『初期英和辞典の編纂法』〕

1999年（平成11年）1月～12月の洋書輸入統計（後編）

荒木 亮一

9. その他の洋書関連商品（幼児用の絵本、地図・海図等、マイクロフィルム、CD-ROM）

（表9-1）洋書関連商品輸入額内訳表（単位 百万円）

品目	1998 輸入価格	1999 輸入価格	前年比	1990 輸入価格	10年前との 比率(%)
幼児用の絵本及び習画本	2,183	2,387	109%	1,258	189%
楽譜	818	734	89%	913	80%
地図・地球儀・天体儀	112	115	102%	178	64%
海図製本したもの	177	92	51%	104	88%
海図など その他のもの	416	336	80%	367	91%
小計	705	543	77%	649	83%
葉書、印刷したカードなど	1,276	1,295	101%	843	153%
カレンダー紙製又は板紙製	1,944	1,680	86%	1,192	140%
その他のもの	146	98	67%	95	103%
小計	2,090	1,778	85%	1,287	138%
その他の印刷物 広告・商業用カタログなど	5,406	4,575	84%	3,557	128%
写真	1,238	716	57%	2,900	24%
絵画・デザインなど	3,077	2,639	85%	6,456	40%
その他のもの	34,048	21,939	64%	16,911	129%
小計	43,769	29,869	68%	29,824	100%
合計	50,841	36,606	72%	34,774	105%

（関税上の注記は次の通り）

(1) 幼児用の絵本及び習画本

幼児用の絵本とは、絵が主体で、文章が副次的な幼児用の本をいう。

(2) 楽譜

印刷したものと及び手書きのものに限るものとし、製本してあるかないか又は挿絵を有するか有しないかを問わない。

(3) 地図、海図その他これらに類する図

製本したもの、壁掛け用のもの、地形図及び地球儀、天球儀その他これらに類するものを含むものとし、印刷したものに限る。

(4) 葉書及び個人のあいさつ、伝言又は通知を印刷したカード

葉書：印刷したものと及び挿絵を有するものに限る。カ

ード：挿絵を有するか有しないか又は封筒若しくはトリミング付きであるかないかを問わない。

(5) カレンダー

カレンダーブロックを含むものとし、印刷したものに限る。

(6) その他の印刷物

印刷した絵画及び写真を含む。（広告、商業用カタログ、絵画、デザイン及び写真その他これらに類する物品）

コメント：幼児用絵本が1998年は前年1997年比で75%と落ち込んだが、小学校から英語教育が始まれば、将来的には増加するのではないか。1999年は前年比で9%増であるが、前々年比ではまだ18%低かった。これらの品目類では、葉書、カレンダー、広告、商業用カタログ、写真、絵画、デザイン、その他の印刷物を含めると、書籍と新聞・雑誌の合計の74%に匹敵するマーケットである。

（表9-2）第49類に含まれる「その他のもの」（参考用）

（単位 百万円）

品目	1998 輸入価格	1999 輸入価格	前年比
郵便切手、収入印紙など	415	287	69.16%
デカルコマニア	937	703	75.03%
設計図	331	888	268.28%

(7) 郵便切手、収入印紙その他これに類する物品

仕向国において通用し又は発行するもので使用してないものに限る。これらを紙に印刷した物品、紙幣、銀行券及び小切手帳並びに株券、債券その他これらに類する有価証券

(8) デカルコマニア／設計図及び図案

デカルコマニア（ガラス化することが出来るものと、その他に分類される。）

設計図及び図案（建築用、工学用、工業用、商業用、地形測量用その他これらに類する用途に供するもので手書き原図に限る。並びに手書き文書並びにこれらをカーボン複写し又は感光紙に写真複写したもの）

コメント：扱うのは特殊な業種に限られると思うが、印刷物の品目に含まれており、20億弱のマーケットになっているので参考までにとりあげた。

10・11. 参考資料（輸出通関統計）

（表10）1999年輸出通関対照表（単位 百万円）

分類	品目	98.1-12月 輸入価格	99.1-12月 輸入価格	前年比	構成比
書籍 及 それに 類する もの	書籍(単一シートのもの)	439	467	106%	2%
	辞典および事典	146	123	84%	0%
	その他のもの	16,679	14,642	87%	73%
	幼児用絵本	50	48	96%	0%
	小計(1)	17,314	15,280	88%	76%
	楽譜	97	140	144%	0%
	地図/海図	16	43	258%	0%
	小計(2)	17,314	183	1%	0%
新聞/ 雑誌	一週に4回以上 発行するもの	115	56	48%	0%
	雑誌その他の 定期刊行物	4,396	4,472	101%	22%
	小計(3)	4,511	4,528	100%	22%
合計		21,825	19,991	91%	100%

注：地図・海図は製本されたもの。新聞は統計表に区分されていない。

（表11）輸出通関統計（単位 百万円）

歴年	書籍			新聞・雑誌			計		
	価格	前年比	指数	価格	前年比	指数	価格	前年比	指数
1990	31,730	107%	107%	5,414	115%	115%	36,871	108%	108%
1991	29,296	92%	99%	5,085	99%	114%	34,381	93%	101%
1992	28,056	96%	94%	5,163	102%	115%	33,219	97%	97%
1993	23,154	83%	78%	4,949	96%	111%	28,103	85%	82%
1994	20,512	89%	69%	5,018	101%	112%	25,530	91%	75%
1995	18,111	88%	61%	4,872	97%	109%	22,983	90%	67%
1996	18,742	103%	63%	4,742	97%	106%	23,484	102%	69%
1997	17,606	94%	59%	4,818	102%	108%	22,424	95%	66%
1998	17,314	98%	58%	4,511	94%	101%	21,825	97%	64%
1999	15,280	88%	51%	4,528	100%	101%	19,808	91%	58%

コメント：1999年の書籍、新聞・雑誌の輸出は、数値的には前年比で91%となっているが、為替の変動を考慮に入れると前年比で約(+)4%である。しかし、数量的にみると、書籍(辞書、単一シートを含む)は輸出ユニット数が1998年と1999年では、11,439から11,230と1.8%の落ち込みを示している。このことは何を伝えているのか。前回、「今の日本に求められているテクノロジー、医学等、重要な分野における新しい知識の輸出促進の必要性を示唆しているような気がする。」と愚見を述べたが、情報伝達のための言語の問題が高いハードルなのかも知れない。

12. 輸入と輸出対照表

（表12）

分類	1989	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
輸入	55%	58%	59%	61%	65%	68%	71%	71%	72%
輸出	45%	42%	41%	39%	35%	32%	29%	29%	28%

コメント：輸出は今や対輸入が約1:3である。ここ10年は年々対輸入比で下降一途を辿っている。歴史を遡ってみた。会報、昭和60年3月号VOL.18 NO.3に掲載されている、輸出通関統計表より1984年(昭和59年)についての[分析]から「S49は輸入:輸出が76:24、即ち3:1であった。それがS59に僅少ではあるが逆転して49:51になっている。——中略——この逆転は一見小さな出来事のようなのであるが、実は日本歴史上重大な意味を持つ。そもそも書かれたものに関する限り、日本は歴史始まって以来ありとあらゆる時代に輸入の一方通行であった。——中略——勿論明治時代においても、馬場辰猪とか、内村鑑三とか、英文で出版した先駆者達が何人も居たが、やはりこれらは例外と言うべきであろう。——中略——これが戦後において、日本語の出版物と共にBooks on Japan in Englishものの海外需要が増加し、日本でのリプリント物が世界中に輸出され、目で見ると日本のファッション雑誌が東南アジアに進出し、外国に日本の大型書店が設立されて遂に今は逆転を迎えるに至った。——略(相良廣明氏報告)」

その翌年、1985年には歴史上最高の393億(書籍333億、雑誌60億)の輸出を達成した。今は、われわれ知識の輸出入に携わる者にとって、いろいろと考えさせられる時代である。(終り)

NHK「原書で読む世界の名作」の指定教材

アースキン・コールドウェル短編集
The Stories of Erskine Caldwell
(The University of Georgia Press, USA)

- ◆ 定価 本体 2,500円(税別)
- ◆ ペーパー版・664頁・1996
- ◆ ISBN 0-8203-1694-6
- ◆ 2000年5月入荷予定
- ◆ 放送期間：
2000年8月3日(木)～11月30日(木)まで(NHKラジオ第2放送)
- ◆ 放送時間：
21:30-22:00(再放送：翌金曜日の11:00-11:30)

放送作品

1. The Strawberry Season
2. The Visitor
3. The Mating of Marjorie
4. A Swell-Looking Girl
5. Horse Thief
6. Country Full of Swedes
7. The End of Christie Tucker
8. Kneel to the Rising Sun

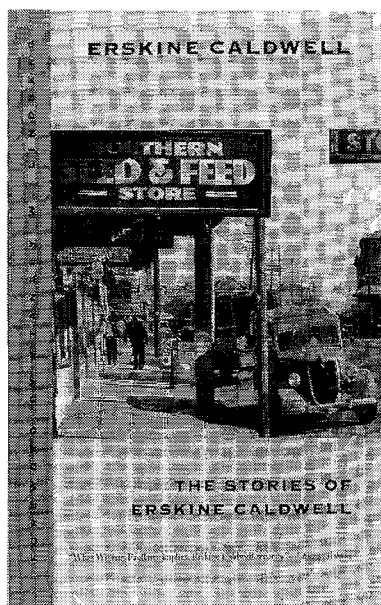
(Georgia版には放送作品全てが収録されています。)

Erskine Caldwell (1903-1987) (解説：大浦暁生 中央大学教授)

『タバコ・ロード』『神の小さな土地』の作者として知られているが、珠玉の短編を多く残したアメリカの30年代から戦後しばらくまで絶大の人気を持つ作家だった。『昇る太陽』『毎の季節』などいかにもアメリカらしい風物や社会の緊張などを描いて憚らず、そのユニークな作風を懐かしむ人は多い。

日本総代理店 ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-9研究社ビル 電話 (03) 3291-4541 (代表)



2000年5月

通巻第396号

日本洋書協会

編集者 高橋 紘

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所＝藤本綜合印刷株式会社